



自分大すき ひとが大すき ふるさと大すき 屋仁っ子から発信！

蒲生崎

屋仁小学校 「自他を尊重し、未来をつくる」 2026年 8月号



「生きる」ということ

校長 中島 朋子

多くの人との出会いと別れがある。「また会いましょう」「いつか会いましょう」生きていれば、また会うことができる。だが、もう二度と会えない人との永遠の別れもある。私にも多くの人との別れがあった。そして、様々な教えがあった。

初めて教え子を亡くしたときは、ショックが本当に大きかった。身体が弱く、週に3日の家庭への訪問という形での授業だった。その別れは本当に突然で自分自身の中で整理することがなかなかできなかった。

諸先輩方との別れも、私に様々な教えを残してくださった。「そのうちまた会える」はない。会える時にできるだけ一緒に時を過ごすことの大切さを知った。高齢になっても日々、身体を駆使して生きていたご夫婦、仕事上や生きていく上で様々な教えやサポートをいただいた諸先輩、もっともっと生きたかった方々もいらっしゃる。そして、誰よりも、もっと共に過ごす時間をもつべきだった自分の親…今はもういない人々とは回想により出会うすべしかな。

今を生きる私たちは…だからこそ、精一杯生きなければ。もっと共に生きたかった人々の分も、生きている私たちは背負っていかなければ。なぜ時を大切に生きるのか…そのことは、子どもたちにとっては少し難しいことかと思う。でも、その心がいつかわかる時までの種は蒔いておきたい。「生きる」ことの意味は最も大切なこと。

八月は、「戦争」「先祖」について考える時季である。屋仁校区でも屋仁・川上校区戦没者慰霊祭が行われた。6年生の2人が戦争について考えたことを述べた。5年生の2人もその姿を見ながら出席している。かつての教え子たちと地域の方々に戦争中の生活について、聞いたことが様々あった。ほとんどの戦争体験者の方々が亡くなっている今、私たちが聴き知ったことを子どもたちに伝えていかねばならない。

すべての学校教育は「生きる」ことにつながっている。教育は文化の伝達であり、生きるすべを教えることだというのが私の信念。その原点は、私自身が小学生の時、担任の先生から言われた言葉「もし、学校の先生になったら、絶対に教え子を戦場に行かせるな。『過ちは繰り返させぬから』(原爆死没者慰霊碑に刻まれた一節)」という文を忘れないでほしい。」

家庭でも地域でも、今までと変わりなく、子どもたちに様々な教えをお願いします。子どもたちは、未来の創造者です。

第1回 自己評価カード集計結果

項目	1回目 (7月)
主目的・活動の学びを深めること	
すすんで自分の考えをもち、伝え合って自分の考えを深めることができた。	3.3
ガイド役になってみんなをまとめたり、自分の考えを説明したりすることができた。	2.9
「へがわかった」「へができた」と、自分を振り返ることができた。	3.3
宿題や家庭学習をきちんとやりとげることができた。	3.7
すすんで教科書や図書館の本を読み、読書に親しむことができた。	3.6
相手より先に、相手の目を見てしっかりとあいさつをすることができた。	3.8
みんなと仲良く遊び、助け合うことができた。	3.8
清掃やボランティア活動で、きれいな花いっぱい学校にすることができた。	3.6
係活動や委員会活動に一生懸命取り組み、みんなのために自分のできることを続けることができた。	3.1
目標を立てて体育の授業や行事に、積極的に取り組むことができた。	3.9
安全に気を付けて遊ぶことができた。	3.6
「早寝・早起き・朝ご飯」の規則正しい生活を送り、自分の体のちやうさをすることができた。	3.3
すききらいをせず、給食を食べることができた。	3.7
夜8時までにテレビやゲームやYouTubeをやめる生活を頑張ることができた。	3.3

第1回 保護者アンケート集計結果

項目	1回目 (7月)	2回目 (2月)
学習指導の充実		
教師は、分かりやすい授業を行っている。	3.7	
教師は、学力を付けるための取組を行い、子供に学力がついている。	3.7	
学習の仕方が十分なされ、子供は意欲的に学習に取り組んでいる。	3.3	
子供たちは自主的に家庭学習に取り組んでいる。	3.2	
家庭では、毎日の家庭学習や読書の見届けを行っている。	3.5	
教師は子供たちへあいさつ指導を行い、子供たちはあいさつが習慣化されている。	3.6	
子供たちは、正しい言葉遣いや適切な服装ができています。	3.6	
子供たちは、学校や家庭で読書に親しんでいる。	3.6	
学級はまとまり、子供たちは友達と仲良く楽しく学校生活を送っている。	3.6	
子供たちは清掃やボランティア活動に進んで取り組んでいる。	3.6	
子供たちは、自分の体力に応じて進んで体力作りに取り組んでいる。	3.6	
子供たちは、安全に生活している(校内・校外・登下校時 等)。	3.6	
子供たちは、交通安全及び学年に応じた危険予知の能力が身に付いている。	3.3	
子供たちは、自分の健康保持に向けて取り組んでいる。	3.4	
子供たちは、好き嫌いせずに何でも食べ、食事マナーが身に付いている。	2.6	
子供たちは、苦手なことにも挑戦し、最後まで粘り強く取り組んでいる。	3.6	
家庭では、「栄養・睡眠・病気の治療」について意識して取り組んでいる。	3.4	
子供たちは、奄美や屋仁の魅力を感じ、自然や伝統文化を大切にしようとしている。	3.7	
学校は、子供についての相談に対し適切に対応している(気軽に相談できる)。	3.4	
学校は、あることを愛する心情を育てる取組(体験活動・環境面等)を行っている。	3.4	
学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている(学校だより・連絡会)。	3.7	
生徒指導の充実		
保健指導の充実		
学校・家庭・地域連携の充実		

【受賞おめでとう！】

5年の前島二葉さんが、「第77回鹿児島県図画作品展」において奄美市特選を受賞し、さらに「鹿児島県市長会会長賞」も受賞しました。作品タイトルは「私と本の物語」



8月29日(土)に黎明館にて授賞式が行われます。

【AED配置場所変更】

「校舎が閉まったら使用できない」「集落の誰でも利用できることが大切」等の意見を受け、AEDを1階トイレ前に移動しました。標識等も付け替えましたので、有事の際は扉を開けてご利用ください。笠利支所・笠利消防本部にも連絡済みです。9月予定の【AED講習会】へもぜひご参加ください。



9月の目標

○自分があつた体力つくりをする。

○時間を大事にし、時計を見て行動しよう。
○時計を見て、3分前に行動する。

【9月行事予定(案)】

- 1日(火) 始業式
 - 3日(木) SC来校
 - 8日(火) 授業参観・PTA AED講習会・まーじんゆらおう
 - 17日(木) 運動会予行
 - 21日(月) 敬老の日
 - 22日(火) 衆国民の休日
 - 23日(水) 衆秋分の日
 - 24日(木) まーじんゆらおう運動会準備
 - 27日(日) 校区合同運動会
 - 28日(月) 振替休日
- ※行事が続く9月です。体調管理に努めましょう。

とっても大切なご案内です。詳細は配付された資料をご覧ください。

あまみし そうだんまどぐち
奄美市相談窓口のあ、
奄美市

がっこう けいけい ちいき ちやうき
学校や家庭、地域のこと何でも
なや うれし
悩みがあれば相談してみませんか

- 相談例
- | | |
|---------------|--------------|
| ① いじめ問題に関すること | ② 友人に関すること |
| ③ 学校に関すること | ④ 将来に関すること |
| ⑤ 家庭に関すること | ⑥ 地域に関すること 等 |

電話・メールでの相談

①～④：学校教育課・ふれあい教室（教育支援センター）
（電話）0997-52-1128 （メール）kyoigk@city.omami.lg.jp

⑤・⑥：学び・スポーツ推進課
（電話）0997-52-1384 （メール）kyoisg@city.omami.lg.jp

フォームでの相談



右の二次元コードを
読み取ってください。



相談内容の秘密は厳守します。一人で抱え込まずに気軽に相談をしてください！！

※ 電話相談：8：30～17：15（土日・祝日を除く平日のみ）
※ メール、フォームによる相談は 24時間受け付けていますが、遅延には
時間をいただく場合があります。